

【ものづくり 人づくり 地域づくり】

2014 せいきょう秋の強化月間

組合員、 生産者、 職員の みなさんへ！

40周年に向け 常総生協に集う みんなの声を募集します！



組合員、生産者、職員みな常総生協の仲間。

「同じ釜のめしを食う」とは良く言ったもので、いのちを育む食を共にすることは家族同様の仲間たち。

組合員は普段はやさしく、落ち着いて、しかし芯の強い思慮深さを持ち、時に三浦大根の霜焼けをめぐってまで組合員どうして熱い論争をする。他者へは配慮と、自己主張は控えめ。

生産者は何か心通じるものがあるのか、これも一級の実践と実践をする生産者が消費者組合員に添う。

日々組合員に接する職員たちは、組合員の独特な雰囲気と感性の中で育てられ、知らずに常総生協の職員らしさを身につけてゆく。宣伝ベタで不器用なのは組合員由来かもしれない。

40年の協同の歴史の中で培われた常総生協の風土を基礎に次の50年半世紀の存続・存在価値に向けて、みんなの声を形に！

【10月の予定】 ※9/25現在の予定です

●地域活動・催し●	●基幹運営・対外関係●
○脱原発とくらし見直し委員会 10/1 (水) 10:00 ~ 13:00 (つくばろうきんビル)	○JCO臨界事故 15 周年集会 9/28 (日) 13:30 ~ (東海村石神コミセン)
○ニッコー冷凍食品試食検討学習会 10/3 (金) 10:00 ~ 12:00 (守谷市高野公民館)	○西尾正道記念講演会「今甲状腺検診を受ける意味」 10/5 (日) 13:30 ~ 16:00 (イーアスつくば 2F) 同日 9:00 ~ 12:00 甲状腺つくば検診 (関東子ども基金) 13:00 ~ 13:30 基金1年間の活動報告会 ※ 10/11 (土) 12 (日) 甲状腺ひたちなか検診
○コットンボール収穫 (JOSO 龍ヶ崎農場) 1回目 10/11 (土) 10:00 ~ 12:00 2回目 11/1 (土) 10:00 ~ 12:00	○新センター地鎮祭 10/16 (木) 10:00 ~ 11:00 (守谷駅前本部敷地)
○やさしと生産者といっしょの米づくり「飯田農園稲刈り」 10/11 (土) 10:00 ~ 13:00	
○JOSOクッキングキャラバン 10/29 (水) 10:30 ~ 13:30 (我孫子アビスタ) 10/30 (木) 10:30 ~ 13:30 (守谷高野公民館)	

【2015年、新センター完成、常総生協40周年に向けて】 みんなの一言、みんなの声、意見提案募集！

同じ協同組合に集う仲間として、良い事も悪いこともみんなで受け止め、みんなで考え、みんなで利用し、食と暮らしをよくしようと頑張ってきた組合員、生産者、職員。

常総生協40年を迎えるにあたって、私たちみんなの生協として振り返り、今の問題、そしてこれからの課題を語りあい、次の10年につなげてゆきたいと思います。

つきましては集う仲間全員から「一言メッセージ」をお願いします！

組合員のみなさんへ！

- どうして常総生協の仲間になったの？
- 生協の会員になって何年になりますか？
- 常総生協の好きなところ、改善したいところ。
- これからの常総生協に期待すること、みんなでやってみたいこと、参加してみたいこと。

生産者のみなさんへ！

- 常総生協とのおつきあいのきっかけは？
- 常総生協の良いところ、弱いところは？
- 常総生協に期待すること。
- もっとこうして欲しいというところ。
- 生産者として頑張るところ。生協組合員といっしょに取り組みたいこと。

職員のみなさんへ！

- 生協に入って仕事して何年？
- 常総生協の良い点、弱い点。
- 仕事に生き甲斐を感じていますか？
- 会って話したい生産者は？
- 組合員・生産者への一声。

一言ずつで結構ですのでぜひ全員のメッセージを！ 40周年記念誌に編んでゆきます。
(10月中を1次〆切とさせていただきます)

キトリ

わたしのせいきょう みんなの一言メッセージ

(組合員 生産者 職員)・・・○をつけてください。

氏名 _____ (生産者は生産者名・会社名を)

(年齢 _____) 生協歴 _____ 年 (生産者は常総生協との提携歴・職員は勤続年数を)

住所 (市町村まで) _____

【食のグローバル化と食肉】2

わたしたちの食肉政策、わたしたちの生産者

先週は紙幅と時間の制限から、食のグローバル化・自由貿易化の問題で尻切れトンボになってしまい、肝心の常総生協としての食肉食材の考え方についてお話しできませんでした。

その前に若干の補足をしておきます。

○ホルモン剤に対する生協の考え

ホルモン作用のあるものについては、常総生協では1997年以降、考え方をまったく改めました。1997年、環境ホルモンの作用をめぐって、従来の毒性学はまったく古いものとなりました。

すなわち、従来は毒性が現れるまでのある一定の用量を摂取しなければ大丈夫として、動物実験等をもとに「**しきい値**」(閾値)が設定されていました。

ところがホルモン様作用のある化学合成品は、たった一分子のホルモンであっても、その暴露されるタイミングで生殖系を攪乱して決定的な影響を与えるという発見でした。

外因性の内分泌攪乱化学物質(環境ホルモン)は、個体(ヒトに限らず動物一般においても)の発生・成熟の臨界期に、ホルモン受容体に対して一分子であっても結合すると、その後の成長や反応性に決定的な役割を果たすというものです。

微量であっても、たった一分子であっても作用する、すなわち「**しきい値はない**」ことが明らかにされました。この発見によって毒性学は大きく書き替えられることとなりました。

常総生協でもこれを契機に、外因性の内分泌攪乱物質に対しては厳密な態度で臨むこととし、2000年には「**リプロダクティブヘルス**」(生殖健康)に**関わる現代の最優先注意対象**として、これらホルモン作用のある化学物質に閾値はなく、したがって残留基準などというものはないこと、直接の因果関係がわかっていない場合であっても「**予防原則**」をとることを決定し、2001年総代会議案書付属書として折り込みで添付されることとなりました。

常総生協として、環境ホルモンとしてのダイオキシン類、ビスフェノール類を含む農薬、化学製品、

動物医薬品、植物エストロゲン等、そして飼料に添加される成長ホルモン剤(エストラジオール17β、プロゲステロン、テストステロン)は国の基準値を問わず回避することとしました。

○ホルモン様物質の影響と考えられる臨床例

これらホルモン様物質と健康への影響は、前回紹介したホルモン依存性がんにとどまらず、胎児がちょうど男女に性別を分かち臨界点ばかりでなく、たとえばすでに男性としてお腹に睾丸が形成されて降下しようとする時期に女性ホルモンに暴露されると、お腹に睾丸をかかえたまま外性器は女性となってしまう、のちに大きくなってからお腹に残った睾丸ががん化して発見されるというような事態がここ20年の臨床で増加していることも報告されています。

さらに、世界の男性の精子数の減少は大きな傾向になっています。米国の13.5万人の男性の1ml中の精子数は過去50年の研究をもとに1億1300万から6600万に低下し、精液量も25%減少しているという研究発表が1992年に発表されています。

日本の国内研究では山形大学で行われた男子学生の調査では精子数が4割減少しているとの報告がされています(2001年)。

不妊治療が増えていることや、子どもの多動性障害(ADHD)、自閉症、学習障害が増加しているのも、環境ホルモンや農薬だけでなく、食肉の飼料ホルモン剤の影響を当然にも疑います。

○残留基準をめぐる考え・・・予防原則のEU

日本やアメリカ、そして貿易自由化を促進するための世界標準をつくらうとしているコーデックス委員会などは、いまだに「残留基準値」を設定し、「基準値以下なら安全」などという時代遅れのことを言っています。

他方、EU・ヨーロッパの国々は、食料と健康リスクに対しては敏感で、ホルモン剤の食肉中・食肉製品の残留による健康への**許容範囲は「ゼロ」**とし、アメリカから提訴され深刻な貿易紛争となって国際裁判で負けてもなお予防原則を崩していませ

ん。こと国民の重大な公衆衛生に関わることとして。

○加工食品・外食の怖さ

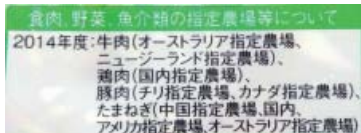
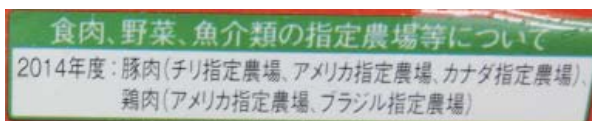
畜肉にかかわり、もうひとつの現在的な問題は、精肉（テーブルミート）は輸入品の場合は表示されることから選択が可能です。が、外食産業で使われる原料肉、そして様々な加工食品・冷凍食品の原料に使われる輸入肉はわからないうちに食べてしまう恐れが多いということです。

事実、スーパーのお肉のコーナーで輸入肉はまだ1～2割です。ところが日本人が食べる輸入肉の割合は統計上5割です。

圧倒的に外食産業と加工食品（ハム・ソーセージの原料や、冷凍食品の原料肉）に使われていることは明らかです。

たとえば、冷凍食品大手 AJ 食品の「ジューシーハンバーグ」や「ギョウザ」などは、中国工場産問題を意識してか「おいしい安心自社工場から」とし、同時に「指定農場の」牛肉・豚肉・鶏肉とわざわざ表示して安心感を漂わせます。

では指定農場とはどこか。下記のようなもので、



いったい指定農場として成長ホルモン剤についてどの

ように指定しているのかと問い合わせると「**日本の残留基準値にあわせています**」という判で押したように同じ答えが各社返ってきます。ホルモン様物質に「しきい値」はないのではと尋ねても、日本の基準内だからと取り合いません。

飼料に添加される筋肉増強剤＝神経コリン作動性「塩酸ラクTOPAMIN」についても「残留基準が設けられており、輸入時の港の検疫でモニタリング検査がされているので大丈夫です」としか言いません。※先週のニュースでラクTOPAMINの日本の使用基準値の記載を間違えました。日本の使用基準 50ppm（誤）→ 5ppm（正）。訂正いたします。（アメリカは 10ppm まで認められている）。

食の安全を国任せにできない以上、消費者が慎重に選択しなければなりません。

○私たちの畜肉生産者・加工食品生産者

こうした現代の畜産物の現状を考えると、「肉類

はほどほどに、主食のコメ・野菜・海藻・青魚を」が常総生協の食生活指針です。

食べるのであれば、たとえば健康に自給牧草を与えて育てられた**鈴木牧場の牛肉**がいかに安全で価値ある貴重品かがよくわかります。「健康な牛乳は健康な牛から、健康な牛は健康な草から、健康な草は健全な土作りから」という鈴木さんの哲学がいかに私たちにとって大切なものであるかをぜひ知っていただきたいなと思います。発酵飼料と交配の超越的な技術で元気いっぱい豚に育てる**岩瀬さんの豚肉**が、おいしいだけでなくいかに安全か。

有機のお野菜を食べて私たちに卵を産んでくれたあとの**天池さんの鶏肉**がいかに味わい深いものであることか。

牛乳やヨーグルト、卵も肉と同様の安全性が確保されなければならないことがわかります。

「鹿児島**坊津の牛生産者**」も木訥として小さな規模で頑張ってます。「**JA全農いばらき**」の**山方牛の生産者**も、そして全農いばらきも専務理事さんを先頭に、わたしたちと共にTPPに反対して国会前に座り込み共に路上で一夜を明かしてしています。

ハムソーセージでは**中津ミートさん**がなぜ自家養豚をしなければ納得できなかったか、**鎌倉ハムさん**が原料肉を国内産にこだわる理由を私たち消費者は理解しなければなりません。

さらに最悪の加工食品・・・価格競争と消費者圧力の中で原材料費を如何に落としてゆくか、加工費を落とすために中国などの海外工場に進出することでいかなる事件が起きたか。

このとき、価格が倍近くても原料素材を安心なものにと頑固に譲らない**ニッコーさんの冷凍食品**、特に小さな子どもたちが食するお弁当総菜への志しがいかに貴重なものか、消費者と生産者が安心と安全という同じ志を持つことの協同性の意味を私たちはかみしめたいと思います。

そして何よりも、姿形ある原料素材を吟味して選択し、その**安心の素材から「手作り」することがいかに大切で尊いことか、お母さん・お父さんのありがたさ**は、子どもたちが健康に育つためのかけがえのない毎日の贈り物・プレゼントだということをあらためて考えます。（文責大石）

組合員と生産者が協同して安心の食づくり

10/3 ニッコーさんと冷凍食品の試食しながらの検討会・学習会

「冷凍食品」を選ぶとき、どんなところが「選ぶポイント」ですか？ 味？価格？内容？原料の原産地？

加工食品についての問題が何かと尽きない世の中、「なるべくお母さんの手作りに近く」をモットーに、シンプルな仕様の冷凍食品を製造するニッコーさんに来て頂き、使う消費者側からの意見や要望を出して生産者とともに改善や開発を共同ですすめます。市販の冷凍食品とも比較検討します。ぜひお誘い合わせのうえお越しください。



【日時】10月3日（金）10:00-12:00

【場所】守谷市 高野（こうや）公民館 調理室（2階）

【定員】20名（多数の時は抽選となります）

【申し込み】生協本部まで電話にて（050-5511-3926）

【持ちもの】筆記具、エプロン、台拭き（調理のお手伝いがあるかもしれません）

【会費】無料 ※保育はありませんがお子さん連れでも大丈夫です。



秋の仲間づくり強化月間・・・千葉の組合員さん手伝って！

10/4（土）流山市で常総生協を知ってもらうチラシ撒き大会！

仲間づくりにご参加ください！

10月4日（土）

職員総出で下記流山地区にチラシまきを行います。ぜひ組合員のみなさん中で一緒にできるという方がいらっしゃいましたらご参加願います。

【対象地区】流山地区（東深井周辺）

【時間】10:00～12:00

【集合場所】流山市内の指定場所

※供給担当までご連絡下さい！

★秋の強化月間 仲間づくり進捗

9月目標 44名に対して **21名** (9/18 現在)

生協への加入を呼びかけるラッピングトラック走ってます！



新しいおさそい職員が加
わりました！

新山さんと金崎さんです。
よろしくお願いします！
（次週紹介）

9/16 平和の集い 第1回実行委員会 報告

平和への 弁舌渦巻く 委員会 ～ 2014 実行委員を募集します！

11月30日（日）9:30～11:30

『戦争って何？ 語り継ごうよ 子どもたちへ』未来への贈り物「平和」

（会場）牛久中央渉外学習センター

●平和の集い 第1回実行委員会 報告

前年の実行委員・牛久地区総代・理事さん各位の心意気がつながって、延びていた平和の集い開催への動きスタートですが、「平和の集い」？それって何？ですか？の質問で始まりました。

これで5年を迎える常総生協「平和の集い」です。今回は、前年開催時にニューギニア戦線の遺構集拝借から発展しました。もう一つはお孫さんの出来事から繋がりを見つけました。

・・・やんちゃっ子の孫が、学校で赤紙のことを習ったと言う。そしてその赤紙が来たら僕は戦争に行くしかないんだと。ずっと泣き続けて眠れなくなつて。

・・・でもね、平和を守ろう！戦争はしないよ！を願う大人もいっぱい居ると話し合った夏休みがあり、そして孫は決心した。・・・本番に続きます。

- ・戦争が起きてどうなったか、苦しむのはいつも市民。
- ・戦争は兵隊無しではあり得ない。



- ・憲法解釈問題、集団自衛権、いよいよ戦争に加わる？！外国での出来事なの？然り、他人事でない。どうなるかをよく考えヨッ。過去に学んでなどいない。武器輸出あり。B29は見えないけれどゲームみたいな高速戦争っていうじゃない。
- ・戦争って本当はどうだったんだろう？貴重なお話を聞きたいです。いろいろ見て聴いて自分で学んでいきたい。
- ・今何が必要なの！未来の子どもたちのために私たちは学び続けたい。
- ・常総の「平和の集い」消してはならず。開催に向けて努力しよう。
- ・人間捨てたもんじゃない。「平和の集い実行委員さん募集」をしましょう。

●実行委員さん募集！

ごいっしょしませんか！実行委員募集します。委員会は牛久市内です。

下記用紙にてご連絡下さい。

次回委員会開催は 10月14日（火）
10時—12時（会場）牛久市内

【お問い合わせ】常総生協
TEL050-5511-3926（担当：村井まで）

●平和の集い2014実行委員に参加します

コース・班名

（組合員 No） お名前

ご連絡先（tel 等）